

神奈川県立湘南高等学校 学校運営協議会 開催結果 (No.1)

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和7年度 湘南高等学校 第3回 学校運営協議会【評価部会】
開催日時	令和8年3月23日(月)14:00
開催場所	県立湘南高等学校 大会議室
出席者	田中校長、池辺委員、吉川委員、小宮委員、近委員、橋本委員、松本委員、藤原委員 倉田副校長、久永教頭、坪野教頭、吉田事務長、山元総括教諭、安斎総括教諭、川村総括教諭 小林教諭、有里総括教諭、上片野教諭、田口総括教諭、柳原総括教諭、大岩総括教諭
会議資料	別紙参照
議事録	<p>○校長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日制24日、定時制26日に修了式、1年間お世話になりました。 ・卒業生の実績について、全日制では素晴らしい成果を残し、次の100年の大切な一步を踏み出すことができた。102回生は特に部活動において、優秀な成績を残している。しっかりと101回生の伝統を引き継いでいけるだろう。定時制では、年々落ち着いた雰囲気となっているが、それでも様々な生徒が入ってくる。卒業式が非常に印象深く、生徒の成長を実感する素晴らしい式となっている。進路としては、4年制大学を受験する生徒もいるので、多様な進路をフォローする必要がある。次年度、70代、80代の生徒が入学してくる。さらに、興味深い学校になるのではと思っている。 ○会長 藤原さん(全日制PTA会長) 副会長 松本さん(定時制PTA会長)で議事の進行を行う。 ○久永教頭より ・資料p4より、少しずつ生徒の資質能力が見えてきたところである。授業研究会を含め、組織的に取り組んでいる。修学旅行は台風等の影響があったが無事実施し、概ね1年間の行事は取り組んでいた。 ○山元総括教諭より ・今年度は、具体的な数値目標をかかげ、校内全体での授業改善をすすめてきた。詳細は資料p7参照。次年度も同じ目標をかかげて、目標を達成している教科を中心に組織的な授業改善をすすめていく。また、授業改善の一環として、校内授業研究会も例年どおり実施し、皆様にもご参加いただき、ご指導をいただいた。その際、今年度は昨年度に引き続き、分科会形式をとり、より授業者と意見交換しやすい形をとり、ご好評をいただいたと感じている。しかし、若手教員の授業実践報告ばかりで、いわゆるベテラン層の研究授業を行うことができず、そこに組織的な授業改善の課題があることをご指摘いただいた。次年度は、積極的にベテラン層を含めた授業研究をすすめていけるように努めていきたい。 ○安斎総括教諭より ・生徒の安全安心を前提とした、行事運営を行ってきた。文化祭は無事に終わり、体育祭も雷の影響で1日順延したが実施することができた。生徒教師間のコミュニケーションが課題があったが、今年度は率先して行うことができた。全定の連絡もとれ、今後も引き続き行っていきたい。次年度の課題としては、生徒職員アンケートの活用が上手くできていないので、活用方法を精査し、運営にいかしたい。 ○川村総括教諭より ・生徒指導、健康指導、教育相談が主な業務である。ちょっとシート活用の活用がかなり浸透してきた。支援の仕方を今後も生徒に合わせたものを考えていく。手立てについても、慎重に判断していく。SNSでのいじめ等対応のしかたを考えていく。リーダーの前に1人の人としてどうなのかという部分の指導を継続していく。 ○小林教諭より ・資料p9参照。101回生の特徴として、文系の人数が例年に比べ多い。理系の平均学力が高い。成果については、例年以上の合格者がでていく。課題は合格率が低い大学があることから、不合格者について特徴等を研究し、次年度の進路指導にいかしていきたい。現在進路指導が学年ごとに動いているケースが多いので、学校として指導を継続することが今後の課題になる。数字は大切だが、それだけにとらわれず指導していきたい。 ○有里総括教諭より ・学校説明会、ホームページ業務について、学校説明会をご指摘いただいていたが、すぐに満員になってしまうので、参加方法等を検討していく。ホームページについては、小中の子供たちへのふれあいに関して、部活動を中心に中学校の生徒からまず、合同練習等をしてもらえるよう声かけに努める。 ○上片野教諭より ・環境整備、防災関係等の業務について。生徒から生徒への環境整備の意識づけを行っている。防災についてはDIG等で意識づけを行い、防災意識を高める。職場環境整備については、オフィス化の意識づけを行っている。課題は、環境整備委員のような中心にいる生徒の意識は高いが、その他の生徒の意識は低い。また、不要ものを捨てるための費用が高く、処理するのが難しい。次年度からより防災意識を高めるために、防災委員を設置し、職場環境の改善は全体で行ってきたい。 ○質疑応答 ・(池辺委員) 予餞会等で3年生のこちら側では見えないところでの1,2年生の反応等あれば教えてほしい。 ・(安斎総括) 1,2年生の反応はわかりかねる。総務長の話は年々薄くなっている。指導もできたのだがしなかった。やはり話は薄く残念だった。 ・(川村総括) 今の総務長はおかざり、話はずまらない。先輩講演会の話はかなり良い。

神奈川県立湘南高等学校 学校運営協議会 開催結果 (No.2)

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和7年度 湘南高等学校 第3回 学校運営協議会【評価部会】
開催日時	令和8年3月23日(月)14:00
開催場所	県立湘南高等学校 大会議室
出席者	田中校長、池辺委員、吉川委員、小宮委員、近委員、橋本委員、松本委員、藤原委員 倉田副校長、久永教頭、坪野教頭、吉田事務長、山元総括教諭、安斎総括教諭、川村総括教諭 小林教諭、有里総括教諭、上片野教諭、田口総括教諭、柳原総括教諭、大岩総括教諭
会議資料	別紙参照
議事録	<p>・(小林教諭)先輩講演会は良い話をしてくれていた。ただし、その1、2年生の反応は、101回生は特別、私たちとは違うや私たちががんばろうと思った生徒が半々であった。</p> <p>○坪野教頭より</p> <p>・資料p12資料参照。学力の定着は一定のものがあつた。文化祭でやりがいや達成感を得られた。また修学旅行でも企画運営をする中で、大きく成長することができた。体育祭は、生徒教員が一緒になって作られる、とても暖かいものになった。また生徒体験発表会では、定時制での生活で様々な機会に認められ、その生活を通じて自分の就職活動に活かすことができ、大きな企業への就職につなげることができた。</p> <p>○田口総括教諭より</p> <p>・1年次の英語の習熟度別については成果を実感できた。いろいろな課題を抱える生徒がいるの中で英語はとても大切である。学びの差をしっかりと補填できたのではないかと感じている。1日も中学校へ登校することができなかった生徒が、定時制に通い始めて、片手ですむくらいの休みですんで、楽しそうに学校生活を送っていることにも成果を感じる。また大学生サポーターを雇い、かなりうまく機能し始めている。次年度以降も習熟度別は継続し、取り出し授業についても、1年次だけではなく他年次でも行えるように工夫していきたい。</p> <p>・求人票を検索する新しい無料のシステムを取り入れ、自宅でも検索できるようになった。その効果として、家庭での話し合いも増え、すべての求人票を見ることができると、県外等の遠方の求人も検索できることから選択の幅が広がった。次年度も活用していきたい。1、2年外部講師の講演会において、闇バイトに関する講演会を行い、多くの知見を得ることができた。今後は外国につながる生徒にもわかりやすい講演会も考えていきたい。</p> <p>○柳原総括教諭より</p> <p>・多くの生徒の活動の場を提供してきた。文化祭も毎年やっていることだが、その都度ブラッシュアップして、生徒自身で考えて、自分たちが楽しむことだけでなく、お客さんを楽しませるものという考えがうまれてきた。体育祭は全生徒が楽しめる競技等を生徒が自分たちで考え、教員はサポートに徹し、行事に時間をかけて挑戦させた。ただし、教員数の減少は次年度も継続するので、精査は必要である。部活動は活動時間や生徒数は増えているが、常に教員が配置できるわけではないので、工夫が必要である。生徒支援では、特別な事案があつた。どのような支援が必要なのか速やかに対応できるように教員間の連携やサポートデスク等はもちろんだが、行事等での生徒との関わり合いが非常に大切である。外部機関との連携はうまくいっているが、自分自身でいつかは自分で支援をお願いすることになるので、その指導も合わせて行っていく。</p> <p>○大岩総括教諭より</p> <p>・生徒の現状等、保護者の方々、PTAの方々からの声かけのしかたを教えていただいたり、常に密に連携をしていく。各中学校へ出向いて進路説明会を行い、入学生も多くなつてきた。ただし、生徒数増に対して職員は減少している。またグループ統合をうけて、業務遂行表を活用し、業務の精査と生徒との時間の確保をバランスよく見直していく。</p> <p>○質疑応答</p> <p>・(小宮委員)求人票の外部システムの導入はすばらしい。具体的に教えてもらいたい。</p> <p>・(田口総括)業務改善が行えたこと、担当者が変わっても引き継げる。求人票は基本近隣の仕事が多い。しかし、このシステム全国の求人票を検索することができるので、幅広い進路選択をかなえている。</p> <p>・(池辺委員)①外国につながる生徒の人数、②大学生サポーターの人数と費用、③修学旅行の参加人数を教えてください。</p> <p>・(田口総括)①1年次2名、3年次に2名いる。</p> <p>・(坪野教頭)②県の予算と国の予算は十分にもらっており、先日使用していない分をお返しした。</p> <p>・(坪野教頭)③担当がいないので正確ではないが、10数名は参加していた。</p> <p>・(藤原会長)生徒数にあわせて教員数は今後増えることはないのか。</p> <p>・(校長)制度的なもので次年度が減の最後になる。クラス数で教員数は決まるので、生徒数では決まらない。</p>

神奈川県立湘南高等学校 学校運営協議会 開催結果 (No.3)

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和7年度 湘南高等学校 第3回 学校運営協議会【評価部会】
開催日時	令和8年3月23日(月)14:00
開催場所	県立湘南高等学校 大会議室
出席者	田中校長、池辺委員、吉川委員、小宮委員、近委員、橋本委員、松本委員、藤原委員 倉田副校長、久永教頭、坪野教頭、吉田事務長、山元総括教諭、安斎総括教諭、川村総括教諭 小林教諭、有里総括教諭、上片野教諭、田口総括教諭、柳原総括教諭、大岩総括教諭
会議資料	別紙参照
議事録	<p>○各委員から一言</p> <p>(松本委員)3年間ありがとうございました。全日制のことも少しは知ることができてよかったです。</p> <p>(藤原委員)地域との連携として湘南高校としての認知はあがっている、過酷な環境だけ一緒にこれからもがんばっていきたい。</p> <p>(橋本委員)小中の子供たちを企画によぶことはできているが、高校生の力を借りることはできていない。今後考えていきたい。</p> <p>(近委員)共通する課題はあると感じた。別室登校、不登校など組織的に対応することが必要不可欠である。SNSの問題について小学校では低学年にも広がっている。学校だけでは対応できない。登下校についても地域の方々の連携が必要。</p> <p>(小宮委員)5年間を振り返ると、全日制の授業研究会の様子等、学校外への発信を積極的に行っていくようにした方がいい。定時制は学校説明会で実際に見に来てくれることはとても大切だと感じる。見学しながら、中学校は行くことができなかった生徒も、教室に対して生徒数を実際に見ることができて、これならいけると実感してくれることもある。これは教員では気づけない視点ではないか。また、教職関係の後継者を見つけることができていない。教職を目指す生徒に避けられる職業になってしまっているのが丁寧な指導をしてほしい。卒業生を会うことがあり、その生徒の活躍を聞くと、湘南高校のスクールポリシーを改めて実感することができた。</p> <p>(吉川委員)3年間ありがとうございました。定時制では革新的なシステムを取り入れて素晴らしい。教員だけでは回らないし気づけない。外部とのかかわりをうまく利用して継続するべきである。</p> <p>(池辺委員)一体感がある。コミュニケーションがとれるようになっていくけど、対応等が課題。楽しんでもらうはキーワードなのかもしれない。自分のいいところ、悪いところを見極めることができるようになってはじめて成長となるのだろう。自分たちの中だけで完結していることは成長にはつながらないだろう。楽しませることが戦略だと生徒も教員も考えていくことが必要であろう。</p> <p>○最後に校長より</p> <p>・教育活動のヒントは本当のリーダーは奥にいるということ。おかしさを置く必要はなく、本当のリーダーを前面にしっかりと置くことができる変容も必要になってくるだろう。定時制の生徒自立の行動はとても大切である。全定で生徒自立をそれぞれの考え方をもち進める。体育館の空調工事が令和8年度から始まる。地域の避難場所としての活用も快適なものができるようになる。湘友会100周年になる。今後も寄り添いながらうまく付き合っていく。</p>

神奈川県立湘南高等学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和7年度 湘南高等学校 第3回 学校運営協議会【地域連携部会】
開催日時	令和8年3月23日(月)15:30～
開催場所	大会議室
出席者	近委員、橋本委員、松本委員、藤原委員 倉田副校長、久永教頭、坪野教頭、吉田事務長、有里総括教諭、上片野教諭、柳原総括教諭、大岩総括教諭
会議資料	別紙
議事録	<p>1. 委員及び出席者紹介</p> <p>2. 学校の取組について 全日制(有里総括教諭) ・今年度の広報活動 資料のとおり学校説明会、小学生フェスティバルなどを計画している。 学校説明会は申し込みが多く今年度も4回に分けて実施を計画している。 今年度、小学生フェスティバルは申し込みが多く、早い段階で定員を超えてしまった。 説明会の内容は動画配信もしている。</p> <p>定時制(柳原、大岩総括教諭) ・今年度の広報活動 ホームページを活用して積極的に広報した。 学校説明会でPTAと連携して学校の様子を発信していきたい。</p> <p>3. 質疑応答</p> <p>Q. 広報について、どのようにおこなっているか。 A. ホームページや学校説明会を通じておこなっている。</p> <p>Q. 小学生フェスティバルの周知や予約について。 A. 周知はホームページで、予約は神奈川県の申し込みシステムを利用している。</p> <p>○要望・意見 ・小学校フェスティバルについて定員に達しても来校できるように工夫してもらいたい。多目的ホールに入れなくても雰囲気に触れられる場を設定してもらいたい。 ・地域の方、進学希望者のみならず在校生や保護者など学校関係者への周知・広報もお願いします。</p>